

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成29年3月】

■調査概要（データ対象期間：平成29年3月1日～3月31日）

- 調査期間：平成29年3月29日～4月19日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業19企業、製造業20企業、卸売業12企業、小売業36企業
飲食業18企業、サービス45企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計150企業>
- 調査項目：3月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

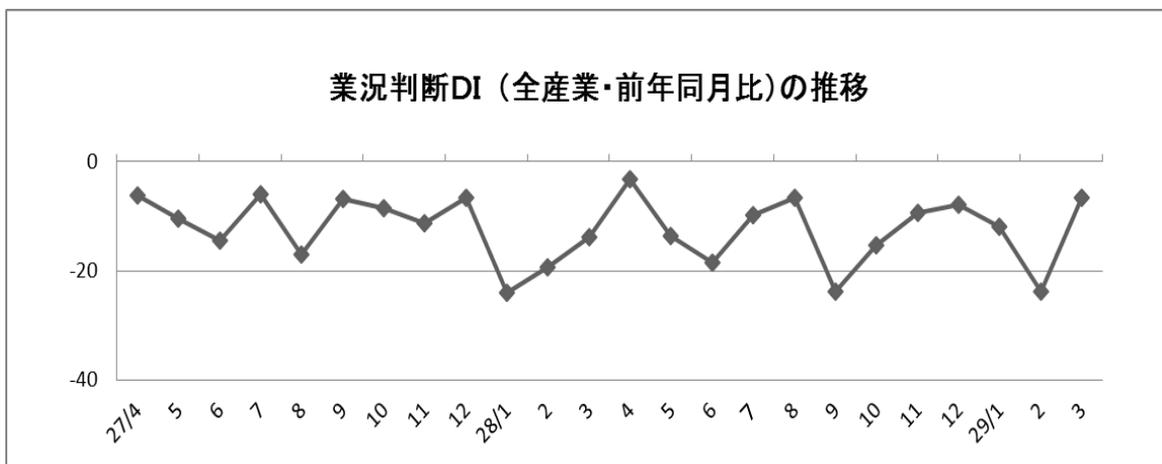
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲23.9）よりマイナス幅が17.3ポイント縮小し、▲6.6となった。業種別では、サービス業、製造業はマイナスから0となり、小売業、飲食業、建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲25.9）よりマイナス幅が17.9ポイント縮小し、▲8.0となった。業種別では、製造業は変わらず、小売業はマイナスから0となった。飲食業、サービス業、建設業、卸売業はマイナス幅が縮小した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	12.7 (7.9)	68.0 (60.3)	19.3 (31.8)	↗ ▲ 6.6 (▲ 23.9)	16.0 (6.6)	60.0 (60.9)	24.0 (32.5)	↗ ▲ 8.0 (▲ 25.9)
建設業	10.5 (9.1)	63.2 (59.1)	26.3 (31.8)	↗ ▲ 15.8 (▲ 22.7)	5.3 (4.5)	68.4 (63.7)	26.3 (31.8)	↗ ▲ 21.0 (▲ 27.3)
製造業	15.0 (9.1)	70.0 (72.7)	15.0 (18.2)	↗ 0.0 (▲ 9.1)	20.0 (13.6)	60.0 (72.8)	20.0 (13.6)	→ 0.0 (0.0)
卸売業	8.3 (15.4)	58.4 (46.1)	33.3 (38.5)	↘ ▲ 25.0 (▲ 23.1)	8.3 (7.7)	50.0 (46.1)	41.7 (46.2)	↗ ▲ 33.4 (▲ 38.5)
小売業	13.9 (5.9)	66.7 (50.0)	19.4 (44.1)	↗ ▲ 5.5 (▲ 38.2)	25.0 (5.9)	50.0 (47.0)	25.0 (47.1)	↗ 0.0 (▲ 41.2)
飲食業	11.1 (0.0)	66.7 (64.7)	22.2 (35.3)	↗ ▲ 11.1 (▲ 35.3)	11.1 (0.0)	61.1 (47.1)	27.8 (52.9)	↗ ▲ 16.7 (▲ 52.9)
サービス業	13.3 (9.3)	73.4 (65.1)	13.3 (25.6)	↗ 0.0 (▲ 16.3)	15.6 (7.0)	66.6 (74.4)	17.8 (18.6)	↗ ▲ 2.2 (▲ 11.6)

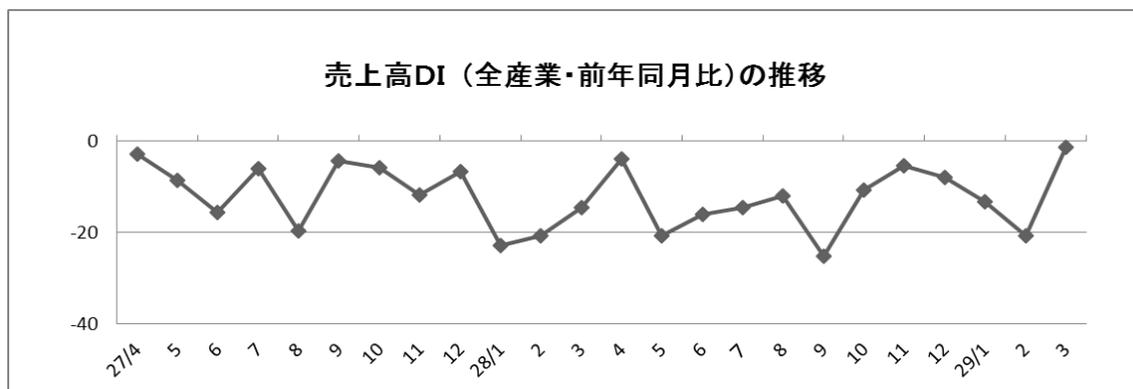
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲20.6）よりマイナス幅が19.3ポイント縮小し、▲1.3となった。業種別に見ると、製造業はプラス幅が0.5ポイント拡大した。サービス業はマイナスからプラスに転じ、小売業、飲食業、建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業はマイナス幅が拡大した。

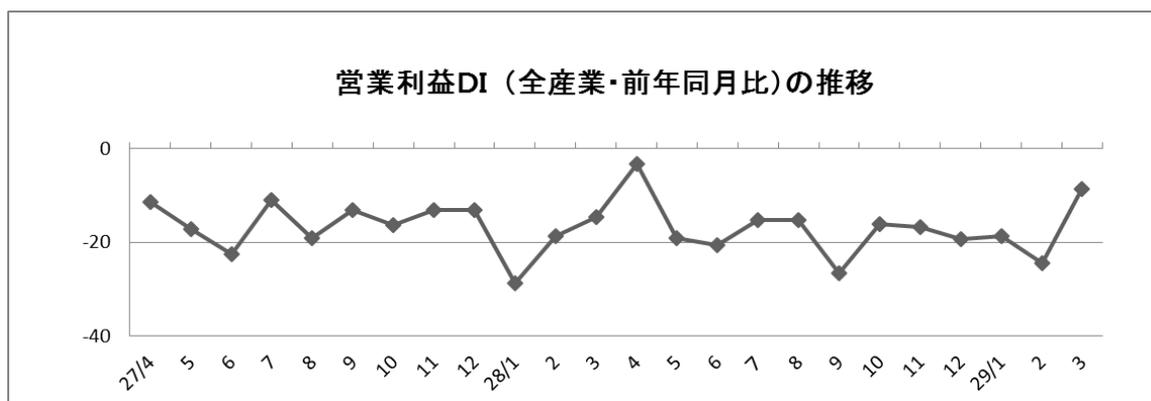


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
全 体	▲14.5	▲3.9	▲20.6	▲16.0	▲14.6	▲12.0	▲25.1	▲10.7	▲5.3	▲8.0	▲13.2	▲20.6	▲1.3
建設業	▲16.7	▲12.0	▲28.0	▲20.8	0.0	▲9.5	▲9.6	▲21.7	▲12.5	▲39.2	▲25.0	▲22.7	▲5.2
製造業	▲9.5	4.4	▲28.6	▲5.0	▲10.0	▲5.0	▲26.1	▲17.4	▲4.5	0.0	0.0	4.5	5.0
卸売業	▲13.3	▲15.4	▲25.0	7.1	▲30.8	▲28.6	▲15.4	▲23.1	6.2	▲18.8	▲43.7	▲15.4	▲16.6
小売業	▲18.1	2.9	▲17.1	▲24.2	▲17.7	▲18.2	▲29.4	▲8.6	▲13.4	16.1	9.0	▲41.2	▲2.8
飲食業	▲20.0	▲20.0	▲40.0	▲35.8	▲33.4	▲5.5	▲43.7	▲18.8	▲28.6	▲13.3	▲33.4	▲35.3	▲16.7
サービス業	▲11.4	0.0	▲7.0	▲13.3	▲10.9	▲9.1	▲25.0	5.0	6.8	▲6.7	▲13.3	▲11.6	8.9

3. 営業利益DI（前年同月比）

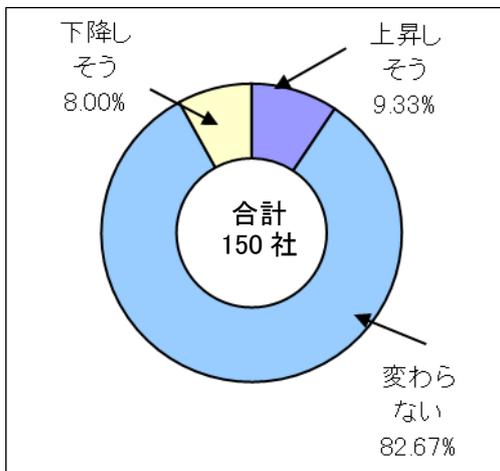
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲24.5）よりマイナス幅が15.9ポイント縮小し、▲8.6となった。業種別に見ると、小売業、卸売業、飲食業、サービス業、建設業はマイナス幅が縮小した。製造業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

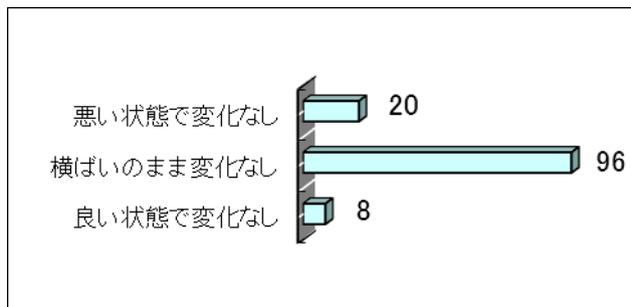
	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
全 体	▲14.5	▲3.2	▲19.2	▲20.7	▲15.2	▲15.3	▲26.5	▲16.0	▲16.7	▲19.3	▲18.6	▲24.5	▲8.6
建設業	▲29.1	▲4.0	▲24.0	▲25.0	▲8.7	▲19.0	▲23.8	▲21.7	▲29.2	▲43.5	▲20.0	▲27.3	▲21.0
製造業	▲9.5	▲8.7	▲14.3	▲10.0	▲20.0	▲5.0	▲30.5	▲30.5	▲22.7	▲10.0	0.0	▲9.1	▲10.0
卸売業	13.3	30.8	▲16.6	0.0	▲7.7	▲21.4	▲23.1	▲7.7	▲6.2	▲25.0	▲37.5	▲30.8	▲8.3
小売業	▲18.1	5.9	▲22.8	▲27.3	▲8.9	▲15.1	▲29.4	▲14.3	▲23.3	0.0	▲9.1	▲35.3	▲2.8
飲食業	▲20.0	▲33.4	▲46.7	▲42.9	▲46.6	▲16.7	▲50.0	▲37.5	▲42.9	▲33.4	▲46.6	▲41.2	▲22.2
サービス業	▲13.7	▲6.7	▲6.9	▲17.8	▲13.0	▲15.9	▲15.9	0.0	2.3	▲17.8	▲17.8	▲14.0	▲2.2

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成29年3月～平成29年5月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.39ポイント増加し9.33%、「下降しそう」が1.38ポイント増加し8.00%となった。業種別の見通しDIは建設業(10.5)、製造業(▲20.0)、卸売業(8.3)、小売業(▲8.3)、飲食業(16.7)、サービス業(6.6)であった。

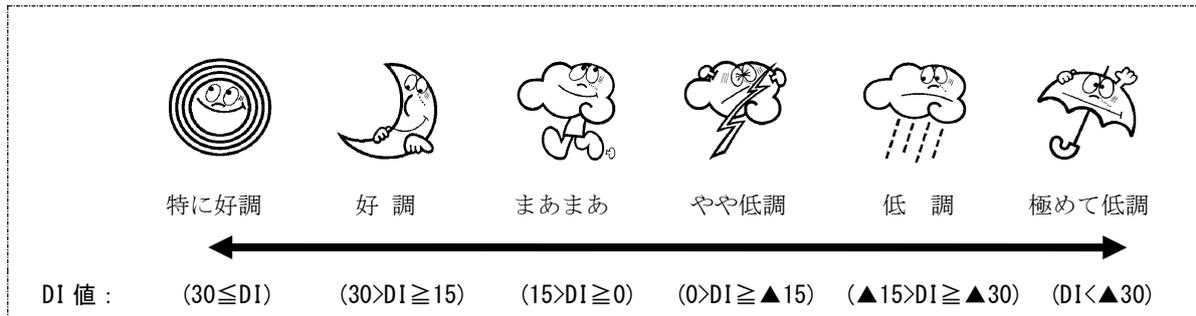
➡「上昇しそう」では、「受注量が十分あるため」「リフォーム物件が増えるため」(建設業)、「季節的要因のため」(製造業)、「半導体の需要が高まったため」(卸売業)、「インバウンドの増加が見込めるため」(小売業)、「暖かくなると客足が伸びることが期待できるため」「ゴールデンウィークや修学旅行の時期に入るため」(飲食業)、「サービスの質が向上してきたため」「新入社員の研修等があるため」(サービス業)といった声が寄せられた。



➡「下降しそう」では、「公共事業の発注が少ないため」(建設業)、「販売面積、アイテム数が減りつつあるため」「材料費の上昇のため」「特需があり3月までは前年並みを維持できたが4月以降は維持が難しいため」(製造業)、「取引が一区切りつくため」「各家庭の消費が冷え込んだままであるため」「需要が減少しているため」(小売業)、「3月を過ぎると例年暇な時期に入るため」「事業主が入院したため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
売 上 高	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 21.7	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2
受 注 量	▲ 16.7	▲ 16.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 38.1	▲ 4.7	▲ 13.1	▲ 20.8	▲ 39.1	▲ 30.0	▲ 18.2	▲ 5.2
受 注 単 価	▲ 12.5	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 8.3	4.4	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 26.1	▲ 16.6	▲ 21.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 5.3
営 業 利 益	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 21.7	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0
見 通 し	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	12.5	4.3	▲ 4.8	9.5	▲ 8.7	▲ 4.1	▲ 4.4	0.0	4.6	10.5

<経営者の目・見方・e t c >

鉄工

- ・材料の価格上昇や部品不足が起こる可能性があるため、今後注意が必要だと考えている。北朝鮮やアメリカ、EU等、世界情勢に目まぐるしい変化が起きそうであるが自分たちの営業にどうかかわってくるか予測が難しい。
- ・地元では案件はないが、関東からの仕事があり先々まで予定が入っている状態である。
- ・4月から動き出すと期待したい。

土木工事

- ・平成28年度が終わり29年度への繰越工事の受注量は全体的に少ない。早期発注を望む。

電気工事

- ・業況全般に下降気味で特に気になる動きは無い。工場関係の景気上昇に期待する。

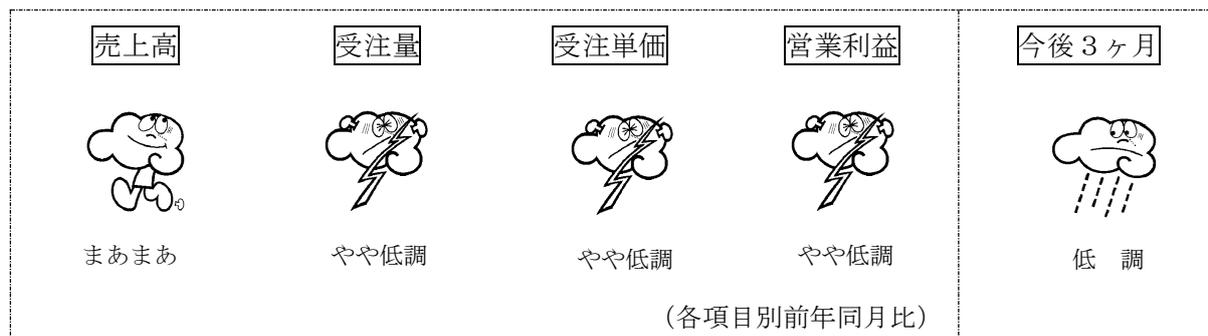
管工事

- ・今年は受注量が少ない。運送業に陰りが出てきていると感じる。業種により差が出てきそうである。今後の動きに注目したい。

建築工事

- ・引き合いが少ない状況である。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
売上高	▲ 9.5	4.4	▲ 28.6	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 4.5	0.0	0.0	4.5	5.0
受注量	▲ 4.8	▲ 4.4	▲ 28.6	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 39.1	▲ 26.1	▲ 13.7	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 4.5	▲ 15.0
受注単価	▲ 28.5	▲ 17.4	▲ 14.2	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 27.3	▲ 10.0	▲ 18.2	0.0	▲ 5.0
営業利益	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 5.0	▲ 30.5	▲ 30.5	▲ 22.7	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0
見通し	▲ 33.3	8.7	4.7	▲ 5.0	10.0	▲ 10.0	▲ 8.7	4.4	0.0	▲ 5.0	0.0	9.1	▲ 20.0

<経営者の目・見方・e t c >

金属塗装	・円高傾向やLPG、原油価格の動向が心配である。トランプ政権の政策の影響がどうなるのか気になっている。
小型情報機器組立	・円高で先行きが心配である。
印刷	・書籍関係は2月と3月が繁忙期のため、従来の売上は維持できそうである。出版関係の先行きは不透明なためあまり期待はできない。
合成樹脂加工	・人材確保が困難な状態が続く。採用コストも含め好ましくない状況。石油由来原材料、金属材料等の材料値上がりが続いている。製品価格に転嫁もできず更に厳しくなる。受注量も目先は見通せるものの先行きについては不透明なままである。
紙器	・昨年よりは多少良かったが、もう少し活気が出てくるとありがたい。

3. 卸売業



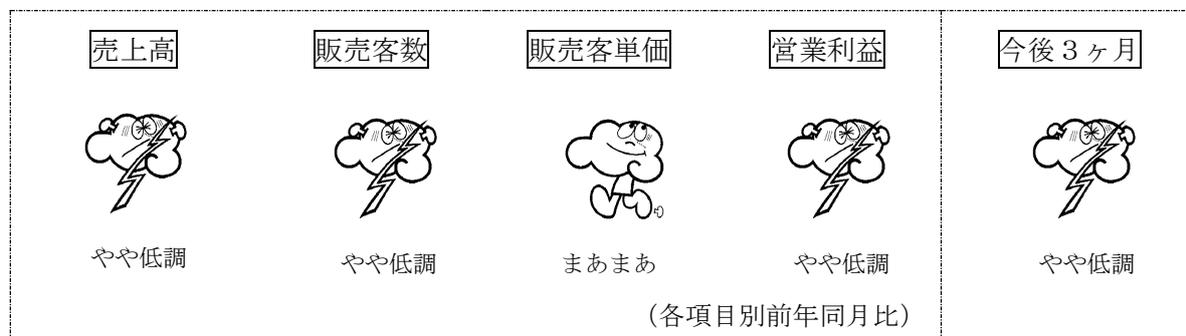
【項目別DIの推移】

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
売上高	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 23.1	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6
販売客数	▲ 6.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 16.7
販売客単価	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 7.7	0.0	6.3	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 15.4	▲ 8.3
営業利益	13.3	30.8	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3
見通し	0.0	0.0	8.3	▲ 7.1	0.0	7.1	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 6.3	0.0	0.0	8.3

<経営者の目・見方・e t c>

- 機械工具
 - ・品物の動きはまだまだ低調だが、半導体の業界が自動車の自動運転の関係で動き出した。受注は堅調なため明るい兆しとなっている。
- 土産品
 - ・土産品業界では3月の春休みは稼ぎ時であるが、予想より悪く小売店での販売が伸びなかった。昨年11月頃から低迷が続いている。しかし、都市部では好調である。
- 青果
 - ・前年のような極端な寒波がなかったため本年は多少の出荷量の増減はあったものの、順調な出荷状況であった。
- 金属製品
 - ・3月は年度末、4月からは予算取りの時期であり、工事案件は一段落している。例年は落ち込む時期だが鉄骨案件が継続しており落ち込みは少ない。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
売上高	▲ 18.1	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 29.4	▲ 8.6	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8
販売客数	▲ 24.2	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 24.2	▲ 11.8	▲ 6.1	▲ 29.4	▲ 5.7	▲ 23.3	0.0	3.1	▲ 41.2	▲ 8.3
販売客単価	▲ 9.1	0.0	▲ 22.8	▲ 18.1	▲ 17.7	▲ 12.1	▲ 23.6	▲ 22.9	▲ 20.0	6.4	▲ 12.1	▲ 32.3	0.0
営業利益	▲ 18.1	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9	▲ 15.1	▲ 29.4	▲ 14.3	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8
見通し	6.1	2.9	▲ 2.8	0.0	▲ 2.9	▲ 6.1	▲ 5.9	0.0	0.0	0.0	▲ 3.0	2.9	▲ 8.3

<経営者の目・見方・e t c>

- 住宅機器
 - ・年度末に現場を一通り終えたため4月からが心配である。
- 印章
 - ・象牙を販売出来る店舗は「届出制」だったが「登録制」に変わる法案が国会に提出された。今後は登録していない店舗は象牙の販売ができなくなるようである。
 - ・外国の観光客の方が多いため、語学習得の必要性を感じている。
- 自転車
 - ・大型量販店の動きが鈍っているように感じる。専門店の有難さを問われる時でもあると思う。
- ショッピングセンター
 - ・3月は卒業入学準備、入社準備など社会行事需要が高まる月である。本年も中旬以降からそういった需要により順調に推移し、消費に大きな変動がないことに関して安心できた一ヶ月であった。
- 化粧品
 - ・プレミアムフライデーに対する企業の姿勢が見えてこない。
- パン
 - ・駅前状況が変わり、当社も影響を受けそうである。
 - ・天候にも恵まれ売上も良かった。今後、人材育成にさらに力を入れていきたい。

陶磁器

・降水量も少なく積雪もなかったが平年に比べ気温の上昇が少ない日が多く桜の開花が遅れた。春休み中に開花するとしないとでは花見の人出がまるで違う。月の後半からは欧米人の観光客の増加が目立ったが春の日本観光の目玉である「桜」への期待の高まりだろうか。イオンモール松本では多くの雇用が生まれるので、地域の雇用の需要バランスが一変する。従業員用の駐車場も規模が大きいので、月極駐車場の相場への影響も大きいだろう。

生鮮食品

・社員を募集しているが高齢な方の応募が多い。大型店は年中無休で朝早くから夜の遅い時間まで営業のため人員が必要となる。最近では宅配業界でも注目されているが深夜営業、少量でも宅配など便利さの過剰サービスの現状に懸念がある。

おやき

・寒い日が多く、気温の変動が激しかったこともあり客足が鈍かった。商店や外食店からも同様の話を聞く。春の到来と共に消費が上向くことを期待したい。

薬局

・暖かくなってきたので人出が期待できる。対面接客での推奨販売に期待したい。

観光物産

・気候が暖かくなり、バスや自家用車の台数が増加してきている。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
売上高	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4	▲ 5.5	▲ 43.7	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7
販売客数	▲ 13.4	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 5.6	▲ 31.2	▲ 12.5	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 11.1
販売客単価	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 26.7	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.8	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 35.3	5.6
営業利益	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2
見通し	▲ 6.6	0.0	▲ 20.0	7.2	6.6	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	▲ 26.7	0.0	▲ 11.7	16.7

<経営者の目・見方・etc>

寿司

- ・寒い時期は観光客等が一切見込めない。地元のお客様も暖かい日と寒い日では比べものにならないほどの差がある。4月に期待する。
- ・仕入面では、鶏肉・バチマグロ・一部野菜などをはじめ値上げの動きが多く、他の食材についても今後数か月をかけて値上げの動きがある。一方、3月の売上は降雪などがあったものの、2月や昨年3月と比べてもお客様の動きが良かった。4月に入っても3月のような良い動きが続くことを期待する。
- ・平均的に見れば悪い状態が続いている。また良い日と悪い日の差が大きい。上昇していく様、出来るだけ良い品を安く、また美味しく提供するための努力は欠かさぬようにしたい。

レストラン

・送別会関連の利用が多く、久しぶりに前年の売上を超えた。

- そば
 - ・今後お花見、ゴールデンウィークに期待はしたいものの、暗い話題も多く先が見えない日本経済に不安を感じている。
 - ・平日の昼が暇であった。しかし、そのマイナスを土日、宴会で挽回できた。
- 郷土料理
 - ・異動期を期待したが変化なし。相対的に会を簡単に済ませる傾向にあり、人の流れも変化してきている。
- 仕出し料理
 - ・従業員の介護休暇、急な入院などがあり、人手不足で時間外労働が多い月となってしまった。高齢化に伴い人出不足の問題に不安が募るが解消していきたい。
- 料理
 - ・客足が鈍く、常連さんを大事にしながら持ちこたえた月であった。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
売上高	▲ 11.4	0.0	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 25.0	5.0	6.8	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9
販売客数	▲ 6.8	▲ 2.3	▲ 11.7	▲ 15.5	▲ 8.7	▲ 4.5	▲ 22.7	0.0	4.6	▲ 11.1	▲ 17.7	▲ 14.0	4.4
販売客単価	▲ 2.2	4.5	9.3	▲ 4.4	▲ 4.4	4.5	0.0	▲ 2.5	6.8	▲ 2.2	▲ 4.4	▲ 7.0	0.0
営業利益	▲ 13.7	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 17.8	▲ 13.0	▲ 15.9	▲ 15.9	0.0	2.3	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2
見通し	▲ 2.3	6.7	2.3	2.2	0.0	4.6	9.1	10.0	4.5	2.2	8.9	0.0	6.6

<経営者の目・見方・etc>

- 自動車整備
 - ・昨年より仕事量が多かった。3年前の消費税値上げによる駆け込み需要の恩恵がまわってきた感じがある。業界の4月以降の動向が気になる。
- マナー講師
 - ・毎年、この時期には新人研修が入っており、繰り返しのご依頼も増えている。本年も新規開拓をしていきたい。
- タクシー
 - ・客単価が上がったので、売上高は前年より多少良かった。
- 機械設計
 - ・期末で一段落。来期のテーマはまだ決まっていないが話はある。
- 温泉旅館
 - ・昨年同月と比較しても客足が鈍い。冬期間は観光客、ビジネス客共に少ない。
 - ・昨シーズンは雪が少なく道路事情も良かったが、今シーズンは大雪こそなかったが道路の乾く間もなく降雪があったため微減であった。
 - ・宿泊人員は増えたが売上高は前年とかわらず営業利益は減った。夕食抜きや素泊まりの外国人観光客の宿泊が増えたため、単価が下がったのが原因である。
- ホテル
 - ・宿泊についてはビジネス客と観光客共に好調であった。昨年は宴会が非常に悪かったが今年は一昨年と同様程度に回復した。
- 保険代理店
 - ・4月から生命保険料の値上げに対する顧客の動向が気になった。